

令和4年度 第4回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年1月27日（金） 15時00分から16時45分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、石川 公子、名倉 久純、藤本 桂、鈴木 仁、
永田 真也
- 4 欠席委員 杉浦 猛弘、山田 佳敬
- 5 学校支援コーディネーター 花島 佳子
- 6 学 校 南瀬 悦司（校長）、杉山 友里（教頭）、高林 秀仁（教務主任）
五十嵐 幸子（CS担当職員）、波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし

9 協議事項

- （1）学校関係者評価
- （2）令和5年度学校経営構想の説明
- （3）学校運営協議会の自己評価

10 会議録作成者 CSディレクター 波多野 祐子

11 会議記録

司会の教務主任 高林から、委員総数 8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- ・PTA やコーディネーターは活動が活発だが、委員の活動としての継続性が感じられず、委員は自分でよいのか、と感じる。人選を考える必要があるのではないか。（永田委員）
- ・来年度は、前に進む活動をしていかないと意味がない。（藤本委員）
- ・ボランティアを組織化し、統一性を持たせることが必要である。例えば、学校の花壇を使用し、子供が関わることで学びの場になるような活動など、新しい活動はないか、自分でも勉強しながらやっていけたらと思う。（本多委員）
- ・子供、高齢者、ボランティアが一体となるような活動ができるとよい。（名倉委員）
- ・学校経営構想（案）に関して特に問題はない。が、保護者に対しての文章であれば、「職員と児童」ではなく、「児童と職員」とするべきではないか。（名倉委員）
- ・PTA、コーディネーター、協議会委員、全部ですべてを共有する機会がないので、活動の認識がばらばらでわかりにくい。連携することが大事ではないか。（名倉委員）
- ・学校経営構想（案）の、目標、理念、活動に関しては問題ない。
方針については、今年度の授業、活動の具体的内容を示してもらえたら、来年度についても考えやすいし、議論しやすいのではないかと。（永田委員）
- ・PTA、学校運営協議会、コーディネーター、地域の共有が今一番必要では。
コーディネーターと委員の立場が逆で、コーディネーターの役が重荷になっているような気がする。今の状態では、次に続いていかないのではないかと。（藤本委員）

- ・活動をどこが主体でやるのか、学校運営協議会なのか、PTAなのか今の状態ではわかりにくい。主体は学校、学校運営協議会があくまでもお手伝いのなもので、地域にはお願いをする、という図式が本来なのではないか。 (鈴木仁委員)
- ・今まで学校として恒例でやってきていなかった活動だけを、コーディネーターを通してやる方が、PTAの各活動部との混乱を招かないのではないか。年度初めに、PTAの活動部と話をする時間を設けることが必要である。 (花島コーディネーター)

司会から、次回会議は、令和5年4月22日（土）、会議室で開催する旨の報告があった。